
令和 7 年度の公募予定※について

※令和 7 年度の政府予算の成立が前提となります

令和7年度の公募予定

◆ 対象技術：

✓ 水環境改善効果＋副次的効果

- ・ 審査内容「当該技術の水環境改善効果」の中で、水環境改善効果と副次的効果（温室効果ガス削減、SDGs他目標との相乗効果等）を総合的に評価。
- ・ 応募書類の参考資料として、技術導入による効果（水環境改善効果、副次的効果）が確認可能な資料（認証、実証結果、導入実績等）の提出を求める。

✓ 信頼性や実績のある技術

- ・ 審査内容「当該技術の水環境改善効果」の中で、総合的に評価する。
- ・ 応募書類の参考資料として、認証、実証結果、導入実績等の証拠書類があれば、提出を求める。

✓ 当該国での普及可能性と実証の意義

- ・ 当該国で同一技術により本事業の採択実績がある技術は審査において加点しないことを公募資料に明記する予定。

◆ 重視する対象国：

✓ WEPAパートナー国・二国間協力先、重要支援対象案件※

- ・ アジア大洋州
- ・ WEPAパートナー国・二国間協力先
- ・ 重要支援対象案件（インドネシアのチタルム川水質改善、湖沼水質改善を想定）

※公募資料に明記する予定。

参考：WEPAパートナー国、環境省二国間協力先

下記対象国であっても、採択決定時点の当該国の情勢を踏まえ、採択を留保する場合がある

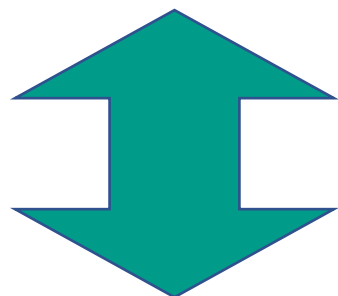


環境省二国間協力先 ※協力分野に水環境を位置づけている国

- ✓ 中国
- ✓ 韓国
- ✓ イラン
- ✓ シンガポール
- ✓ インドネシア
- ✓ ベトナム
- ✓ ミャンマー
- ✓ タイ
- ✓ インド

出典：WEPA第3期報告書（2019）

2月19日 国内向けセミナー・公募前説明会



事前相談会の実施（後ほど説明）

3月 R7年度公募開始の予定

（以下、想定）

4～5月頃 公募
検討会にて新規採択審査

6月以降 請負契約締結